

令和元年度第1回座間市総合戦略推進懇話会 会議録

日 時 令和元年10月24日(木) 9時30分～11時00分

場 所 座間市役所3階 3-1会議室

出席者 長本委員長、村山副委員長、小林委員、鈴木委員、高橋委員、中尾委員

事務局 安藤企画財政部長、吉野企画政策課長、金子企画政策係長、小澤主任

傍聴者 無し

公開可否 ■公開

議 題 (1)第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針(案)について
(2)第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)について

資 料 ・次第
・令和元年度座間市総合戦略推進懇話会委員一覧
・資料1「座間市総合戦略推進懇話会設置要綱」
・資料2「第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針(案)」
・資料3「第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)」
・資料4「第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定資料」
・資料5「『座間市人口ビジョン』と令和元年度『座間市の人口及び世帯数の将来推計』の比較」
・参考資料1「まち・ひと・しごと創生基本方針2019について」
・参考資料2「次期『地方版総合戦略』の策定に向けて」

《開 会》

○開会

○市長挨拶

○委員自己紹介、事務局紹介

○委員長、副委員長選任

《議 題》

◆議題(1) 第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針（案）について
（委員長）

それでは、議題(1)について、事務局から説明願います。

○事務局から説明（資料2）

（委員長）

それでは、ただいま事務局から「第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針（案）」について説明がありましたが、御意見、御質問等がございましたらお願いします。

（委員）

第2期市総合戦略は国の要望を受けて策定するとのことですが、6ページにあるのが「新たな視点」の対応表ですね。聞きたいのは、これまでの5年間の取組の中で、「新たな視点」に関連付けられるようなものはないかということですが、それがこの表と捉えて良いですか。

（事務局）

そのとおりです。

（委員）

ということは、「新しい時代の流れを力にする」は、SDGsに取り組んでいれば良かったということですね。そうしたら、計画として少し優位に立てたと思います。

次の議題にも関係するかもしれませんが、これまでにやってきたことではなく、第2期に向けてこれまでのKPI等も含めた評価を踏まえ、どういったものを加えていく考えですか。

次に、「広域的な連携」について、国の「新たな視点」で、例えば「ひと・資金の流れ」に「関係人口」というものが出てきています。これは、座間市以外の人たちも定住しなくても座間市のために関わってくれる人を増やすもの、だと思います。

こういった観点や、「新しい時代の流れ」ということでは、平成30年4月に閣議決定した「第5次環境基本計画」の中に「地域循環共生圏」という考え方が出ていて、座間市には「湧

水」という自然的な財産があり、水のつながりと言えば上流、下流だとかで関係してくるし、資源にもなるのではないのでしょうか。隣には県立座間谷戸山公園がある中で、経済、社会的なことだけではなく、生態系も含めた「広域的な連携」も加えていけば、「新しい時代の流れを力にする」ということにもなると思います。

以上の2点をお聞きします。

(事務局)

これまでの5年間の取組の総括としては、今年度実施しますが、現状ではまだ手を付けていません。なお、これまで毎年度『座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略』点検・評価報告書を作成する中で、4年間の取組は点検、評価していますので、それらを基に総括する予定です。

それを踏まえた上で「新しい時代の流れを力にする」について、国では、具体的には「Society5.0の実現に向けた技術の活用」や「地方創生SDGsの推進」等を挙げていますが、本市としては、未来技術の活用は現時点では不確定な要素があるため、第2期市総合戦略に明記することは難しいと考えています。

一方、SDGsの推進については、既に取り組んでいるものもあり、「具体的施策」に記述を加えることを考えていますが、皆様からの御意見を参考にしつつ、最終的には国の総合戦略の策定を受けてから判断したいと思います。

「関係人口」についてですが、国は、「地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、『関係人口』と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されており、将来的には『定住人口』の増加も期待される」としています。

しかし、本市としては「関係人口」から移住へとつながるプロセスがはっきりしておらず、そもそも東京圏に含まれる本市は人口の奪い合いをする意向はなく、現時点では「関係人口」に着目した施策は考えていません。本市としては、暮らしやすいまちづくりを進める中で、自然と長く住みたい、座間市に住んでみたいという方が増えてくれば良いと考えています。

(委員)

「関係人口」の概念を再度確認した方が良いと思います。学会からの依頼で執筆したが、「関係人口」は「定住人口」でなくても座間市に関わる人ということなので、再度施策等を検討した方が良いと思います。

これまでの基本戦略を評価していくのであれば分かりませんが、第2期に向けてということ言えば、当時目標に入れていないもので計画期間の中で興ってきて次に取り込めるものを拾った方が良いのではないのでしょうか。その中で、「地域循環共生圏」だとか、SDGsも達成すれば良いのではなく、「やっています」だと「自分たちは変わるつもりがない」という意味

になります。また、SDGs だけ見てもだめで、全体を見ると「Transforming our world」というタイトルがあって、「当てはめ」を超えた検討をしてほしいと思います。

(委員)

策定プロセスについて伺います。記載方法の変更かもしれませんが、資料2の8ページの策定体制に、事前に配布された資料に記載のあった「市民参加」と「市議会」の項目が本日配付された資料では削除されています。地元住民の御意見について、第2期に向けた取り込み方はどのような形になっているのか教えてください。

(事務局)

先にお送りした資料の作成後、庁内、部内で策定方針についての検討を深めました。市民参加ということで、現行の第1期市総合戦略を策定した時は、アンケートやパブコメを実施して市民の声を聞いた実績があります。しかし、第2期の策定に当たり、第2期は第1期を軸に枠組みを維持して必要な見直しを行うという中で、市政運営という視点では、市は平成23年度～令和2年度の現行の総合計画を基にして運営していくという姿勢です。

そう考えると、総合計画は市が主体となって策定するものですが、市総合戦略については地方創生法の規定の中、地方創生を踏まえたある程度中身が決められたものであり、今回については、市民参加は必要ないと判断しました。

(委員)

当初はパブコメの実施も考えていたが、整理した中で、今回はパブコメや市議会への諮問は想定していないということですか。

(事務局)

そのとおりです。

(委員)

パブコメ等の市民参加は、それぞれの団体によって考え方が違うと思いますが、具体的なKPIに関わってくる部分があり、住民や座間市の企業に影響があると思ったので質問しました。市総合戦略と総合計画では重なっている部分も多く、市民の声を聞くいろいろな機会を利用して、どこかで聞けると良いと思いました。

(委員)

パブコメは住民の非常に重要なポイントだと思いますが、市としてはどこからどのように住民の意見を吸い上げて、市総合戦略に反映させるのでしょうか。

(委員)

参考資料2でも策定プロセスについては、5、6ページに書いてあり、「新たな視点」にも「民間と協働する」とあります。

そもそも、これから策定するのは「長期ビジョン」ですので、ビジョンは誰と共有するのかが大きなポイントです。市内だけで共有してもだめで、市民や事業者と、役割が違って「2060年までにこうなりたい」というのがあって、行政だけではない民間や事業者からも公的な事業が生まれてくるような、そういう意味ではパブコメだけでは足りなくて、座間市の職員の人数を考えると無理をしるとは言わないが、ビジョンを一体誰と共有するのか、策定の方向性の中で検討していただきたいと思います。

(委員)

総合計画という市の基本となる計画がある中で、地方創生法、国の政策の関連で市総合戦略を策定するという事で、計画期間が1年ずれて総合計画が1年先まであって、次の計画がどうなるかという話もありますが、市総合戦略が先に見直しとなる中で、総合計画との関連性はどうなっていますか。

どちらが優先というわけではないが、整合させるということなので、その辺りの考え方があれば教えてください。

(事務局)

ひとまず、最後に頂いた総合計画との整合に関する御質問にお答えします。

第2期市総合戦略は、令和2年度～令和6年度の5年間を計画期間とし、その後も継続して策定する予定です。一方、第四次総合計画は、令和2年度で10年間の計画期間を満了し、令和3年度からは計画期間2年間の市政運営指針となり、令和5年度からは計画期間8年間の次期総合計画となる予定です。

市総合戦略と総合計画についてですが、総合計画は市長からの挨拶に当市の憲法のようなものだとなりましたが、当市の総合的な、行政を経営していく上での羅針盤のようなものであり、市総合戦略はその中から人口減少克服と経済、地域社会の課題解決に特化したものだと捉えています。市総合戦略と総合計画は無関係なものではありませんが、計画期間を合わせる考えはありません。

(企画財政部長)

総括的に回答したいと思います。

「市民参加」について、何名かの委員から貴重な御意見を頂きました。先ほど、担当職員から回答しましたが、現行の市総合戦略を策定する際、平成26年度から取り組みましたが、市民アンケートや、市内の各高校を回って高校生へのアンケートをお願いする中で、当市の

イメージ等について個別にアンケートを取ったりし、外部有識者会議は、メンバーも20名余りと多くの方々に御協力を頂いて策定した経過があります。

現行の市総合戦略ですが、計画期間は、国の計画期間と合わせるということで、5年間で策定しました。冊子の13ページに基本目標を4点掲げましたが、「ずっと住みたくなるまちを目指して～郷土愛の醸成と定住の促進～」、「あしたを創る地域産業の活性化を目指して～雇用の創出と企業活動の支援～」、「みらいを担う世代のすこやかな育成を目指して～若い世代の結婚・出産・子育て～」、「あんぜん・安心な地域づくりを目指して～時代に合った地域づくり・地域間の連携～」というように、この基本目標に沿って各部局で個別計画を進めているところですが、基本目標の達成には5年間の計画期間ではあまりにも短すぎると我々は認識しています。

これらの目標を達成するには、長期間の推進が必要だと理解していく中で、第2期市総合戦略は、基本目標をこの4点に定めているので、基本的には引き続きこの基本目標の達成のために進めていきたいと考えています。このため、丁寧に策定した現行の市総合戦略を継続していく中では、現状ではこの形で策定するのが良いと考えています。

ただ、各委員が言うとおりに、市民の意見を聴取する機会は非常に重要だと理解しています。また、パブコメだけでは足りないという御意見も頂きました。その部分についても、戦略を策定していく中で、必要に応じて検討したいと思っておりますし、総合計画、市総合戦略どちらも必要に応じて適宜改訂していくということになっていますので、両計画の整合ということについては、各々の適時なタイミングの見直しの中で整合を図っていきたいと考えています。

(委員長)

ただいま皆様に頂いた貴重な御意見等については、事務局で取りまとめていただきたいと思っております。

◆議題(2) 第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)について

(委員長)

続いて、議題(2)について、事務局から説明願います。

○事務局から説明(資料3)

(委員長)

それでは、ただいま事務局から「第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)」について説明がありましたが、御意見、御質問等がございましたらお願いします。

(委員)

印象として削除が多く、新規が少ないと感じたので、国が出しているメニュー等に沿って削除しているのか、又は5年間の事業の見直しの中で削除しているのか、どういう視点かを教えてください。

(事務局)

現行の市総合戦略については、当時国からの方針があった中で、ある程度国の考え方に基づいて策定しましたが、この5年間を通して市の施策、事業として目的を達成したものや、方針としてやらないと決定したものなどを反映して見直しを行いました。今回の国の方針を受け、国の考え方が変わったから削除したというのではなく、当市の現状に合わせて見直した結果です。

(委員)

当初は、国が出したメニューの中からできそうなものをやってみたが、削除しているのは5年間の評価の一つということですか。

(事務局)

そのとおりです。

(委員)

新しく加えるものは、国の考えに合致しているということなのか、それとも独自に考えたものなのか、また、新しくやるもの、継続してやるもの、性格が変わったものがある中で、第2期市総合戦略の「新たな視点」として自信を持ってこれだと言えるものはありますか。

(事務局)

今回の国の基本方針で言えば、「新しい時代の流れを力にする」というところが、「新たな視点」を持つところなのかと考えていますが、市の根幹としては市総合計画がある中で、第2期市総合戦略に全く新しいものを入れたと仮定して、市総合計画にないものを市総合戦略で掲げた場合、市総合計画と市総合戦略の整合を図る上で別方向に行ってしまうことも考えられます。そのため、基本的にはこの5年間を踏まえて当市で実施しているものを軸に、市総合計画の実現に向けてより地方創生に特化したものをメインに作成したものがお示した骨子案です。

以上から、第2期市総合戦略の売りと言えるものは、現状では特にございません。

(委員)

骨子案の4ページ、冊子では30ページの基本目標3、基本施策(2)の『「駅近」住み替え支援の充実』の具体的施策が、三つ中二つ削除されていて残っているのが「団地リフォームによる住宅供給(座間駅)」、これは「ホシノタニ団地」のことですよね、これだけが残る形になってしまいますが、「住宅供給」も実際は終わっていますよね。ほかの二つの施策は、もうやらないのか、終わってしまったのか、教えてください。

(事務局)

具体的施策の「空き家の活用」と「住み替え(定住)コンシェルジュの開設」、○空き家のリフォーム支援、情報提供(小田急グループ:住まいをつなぐプロジェクト)と○住まいのワンストップ窓口の開設(住まいや住み替え等に関する相談を受け付ける窓口の開設、関係機関との連携強化)は、担当課とヒアリングしたところ、現在実施しておらず、今後も実施する予定がないということで削除しました。

また、「団地リフォームによる住宅供給(座間駅)」も「ホシノタニ団地」のことですが、確かに終わっているものになりますので、この施策を削除することも一案だと思います。

(委員)

個々の施策の削除、新規について御説明いただきましたが、骨子案において、どういう視点のものを削除し、どういうことを踏まえて新規として加えたのかといった考え方を骨子案の最初に載せていただくと分かりやすいかと思います。

資料4に各々の所管課の意見が出ていますが、削除している施策を見ると、例えば、「本市の施策にそぐわない」、「実施していないため削除したい」といった御意見が付いています。第1期市総合戦略を策定した当時は、市としてその施策をやろうと考えていたと思うのですが、実施しなかった理由までは書かれていないので、例えば、「本市の施策にそぐわない」で言えば、国の方針に従って作ってはみたものの、市の状況を考えると違ったということなのか、又は5年間で状況が変わってきたから実施はやめたということなのか、実施する必要性がなくなったということなのか分からないので、考え方を示してくれると有り難いと思いました。

(委員)

地方創生の施策は、国のメニューどおりにやれば交付金が出るということで、いろいろと難しいとは思いますが。ただ、市総合計画と事務局が同じという強みもあるので、市総合戦略でできなかったものは市総合計画に回すとか、そういうものがあれば国が示したメニューと市の実情を活かす道もあるかと思います。そういう意味でも削除した理由は重要なことだと思うので、庁内で共有したら良いのではないかと思います。

それと、「新しい時代の流れを力にする」とか「新たな視点」が三つくらい示されていて、これも国がメニューを示してからになるかもしれませんが、幸いにも1年後に市総合計画がということならば、そこに活かせるようにこういう視点ということで、市総合計画も含めて考えを示すのも良いのではないかと思います。

(委員)

資料3の3ページの具体的施策で、「事業承継」に関連する話が結構削除されていますが、近隣との協働といった中でももう少し検討の余地がないかと、中小企業の事業者との話で最近下振れしているなどの話があって、銀行でも事業者と資金繰りや人手等の話をしています。事業承継は、やめてしまう事業者も多いので削除している部分もあるかと思いますが、その辺りの施策を何らかの形で盛り込んでいただけないかと思います。

(企画財政部長)

貴重な御意見を頂き、ありがとうございます。総括的に回答したいと思います。

具体的に各施策の廃止理由を説明するのは難しいが、総じて削除が多いのは、この4年半の取組の中で、ある程度形になったものをまずは削除したというのが一つあります。具体的に挙げるならば、資料3の2ページの(3)に「○(仮称)座間市シティプロモーション推進指針の策定」、「○地域間連携によるエリアプロモーションの推進」がありますが、指針はある程度策定しており、地域を超えたエリアプロモーションも現在取り組んでいるところなので、外しています。

また、3ページの(1)の「○ロボット関連産業への経済支援」と「○ロボット導入支援セミナーの開催」を削除しました。ロボット関連、当初は国が示す流れを参考にしながら、ある程度当市でもロボット関連の需要があるのかなということで、また、第1期目ということもあり、幅広に策定しました。その後、4年半の取組の中で、市内の企業にアンケートを取りました。その結果、現状では、ロボット導入までは考えていないという事業所が大半でしたので、削除しました。

削除で言うならば、5ページの(2)に「○新消防庁舎の建設」があります。ご存じの方も多いかと思いますが、平成29年度に完成しましたので、こういったものを外しています。

また、今回新規のものを何点か取り入れましたが、1ページの「○座間駅周辺地域の活性化」は、この5年間で比較的寂れてしまったのが座間駅かなということで、市議会でも先般明らかになりましたが、観光協会がこちらに引っ越してくる話もあるので、そういったことも視野に入れながら、活性化を更に図っていきたいということで新規に加えました。

事業承継の話も頂きました。事業承継は、4年半の取組の中で、市内金融機関に多大なる御協力を頂く中で、「創業支援セミナー」は非常に盛況で実績もかなり上がっていると聞いています。そのため、こちらはいくつかの施策をまとめてはいますが、「創業支援セミナー」と

ということで、引き続き継続していく考えです。

先ほどの説明で、長期的な視点で取り組むことが必要という話を挙げましたが、5年間の取組の中でもう一つ、これまでは特に考えが及びませんでした。行政が婚活を支援するという視点で施策を何点か打っています。婚活イベントは非常に好評で、中には市内同士ではやりにくいという声もありますから、近隣の市町村と合同で開催しており、実績も上がっていると聞いています。引き続き、力を入れて継続していきたいと思えます。

(委員長)

それでは、せっくなので私からも少しよろしいでしょうか。

いろいろと資料を見る中で、微妙なボタンの掛け違いがあるのかなという気がします。というのは、「まち」と一言で言っても漢字で「町」と「街」があり、この「まち」が行政側と民間側で微妙に受け止め方が違うのかなと思います。経済圏だとか地域交流だとか、「まち」という捉え方が違うのかなと思います。商工会の代表として参加しての意見です。

また、先ほどのロボットに関しても、「ロボット」という考え方が若干違うのかなと思います。労働人口の減少に伴い、ロボットではないですが、高度な機械化というのは、ロボットとは言いませんが、その辺の線引きについてです。

事業承継についてお話がありましたが、商工会で必ず毎月一回ある理事会では、退会又は加入した人の承認をしないといけない。退会というと倒産が多いですが、座間市はほとんど廃業です。廃業の案が出たとき、私はこれで良かったのではないかと思います。というのは、廃業ということは借金がなく、会社を締められた人ですから。倒産では、家、土地、家族を失くした人もいるかもしれない。そういった中で、事業承継でも無理な承継は勧めずに畳めるものであれば、それはそれでそう考えるのも良いのではないかと思います。

いろいろな施策について温度差があるような気がしますので、もう少しお話できれば良いのかなと思います。

(委員)

私も働く者の立場から労働者へのケアというところで、働く者が地域に勤めて地域で暮らすというところが、総合的に生活していく上で、勤労者にとっては働くところ、子育てするところ、一生住むところが近ければ近いほど生活に余裕が出てきます。そういう面で、この基本目標2の「雇用の創出と企業活動の支援」は、今後も更なる展開を図っていただきたいと思えます。

(委員長)

ただいま皆様から頂いた貴重な御意見については、議題(1)と同様に事務局で取りまとめていただきたいと思えます。

それでは、ほかに御意見、御質問等もないようですので、本日の協議は終了とさせていただきます。

最後にその他ということで、委員の皆様、又は事務局から何かありませんか。

ないようですので、進行を事務局に戻します。

《閉 会》

○閉会

以上